



2020年12月22日

報道関係各位

平和不動産株式会社

## 当社のサステナビリティ経営に関する取り組みについて

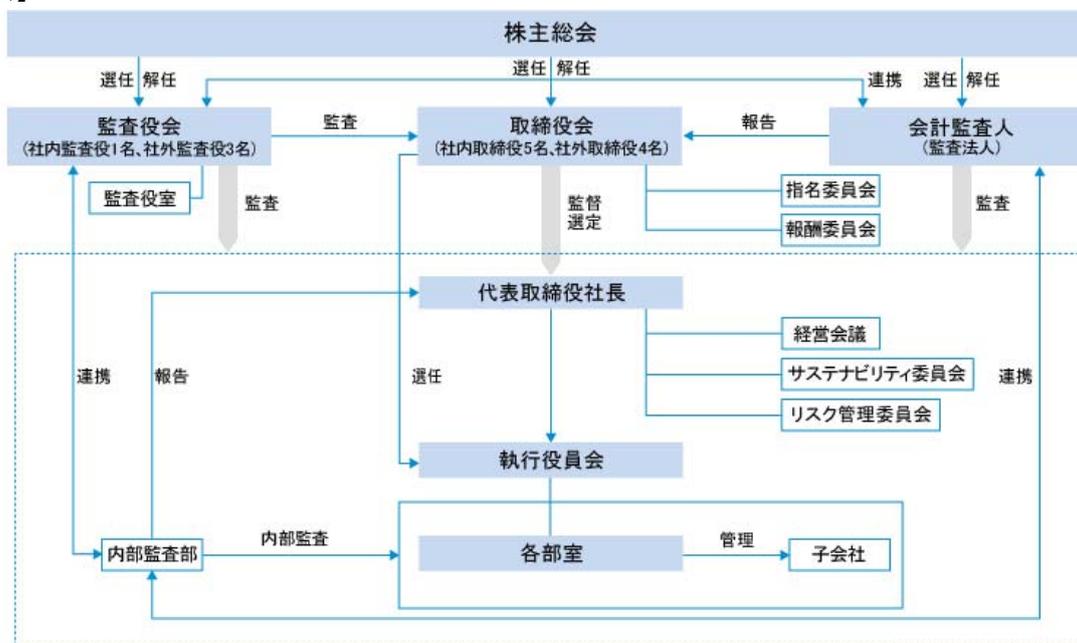
当社は、2020年4月に策定した中期経営計画「Challenge & Progress」における重要施策の1つとして「サステナビリティ経営の実践」を掲げており、当社のサステナビリティ経営に関する取り組みについて、次のとおりお知らせいたします。

### 1. サステナビリティ委員会設置について

当社は、サステナビリティ経営の実践に向けた、サステナビリティ施策の円滑な推進を目的に、委員長を代表取締役社長、委員を執行役員及び各部署の所属長として構成する「サステナビリティ委員会」を設置いたしました。

今後は「サステナビリティ委員会」を中心に、サステナビリティ施策に関するPDCAをモニタリングすることにより、サステナビリティ経営の実効性を高めてまいります。

#### 【体制図】



### 2. 当社が目指す社会価値及びマテリアリティ（重要課題）について

当社は、当社が目指す社会価値及びマテリアリティ（重要課題）について、当社の経営計画、GRIガイドライン、ISO26000、SDGsなどを参考に社会課題を洗い出し、当社としての重要度及びステークホルダーにとっての重要度という2軸で検討し、次のとおり特定いたしました。





**サステナビリティビジョン** 「街づくりに貢献する会社」としての活動により、環境・社会課題の解決や各ステークホルダーとの双方向のコミュニケーションを通じて満足度を高めることによって、サステナブルな社会の実現に貢献します

当社が目指す社会価値		マテリアリティ	SDGs
ダイバーシティとインキュベーションによる、にぎわいのある街づくり	街がさまざまな人の集う、活動する場となり、投資・証券・金融が発展し、文化・芸術等も育ち、にぎわいが創出される。そのような街づくりに貢献します。	産業振興および地域振興	8 産業部門の持続可能な成長を促進する
		ソーシャルニーズへの対応	2 持続可能な都市と地域づくり 3 良好な健康と福祉を促進する 5 ジェンダー平等を推進する 10 人や地域間の格差をなくす
災害に強い、レジリエント（強靱）な街づくり	防災性能の高い建物・設備と、住む人・働く人たちによる日々のコミュニティ活動により、街が安全に機能し続ける。そのような街づくりに貢献します。	自然災害リスクへの対応	11 持続可能な都市と地域づくり
地球環境に優しい、低炭素の街づくり	街の活動において省エネルギー化が進み、また再生可能エネルギーが積極利用され、CO2排出量が削減される。そのような街づくりに貢献します。	気候変動への対策	7 持続可能なエネルギー 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動に起因する影響を軽減する 15 陸域生態系を保護する
街づくりへの貢献を支えるコーポレート・ガバナンス	コーポレート・ガバナンスの強化を継続し、また、当社の全役員・全従業員が環境課題・社会課題に対して積極的に取り組む会社を目指します。	コーポレート・ガバナンスの強化	16 平和と公正な社会を築く

3. GRESB リアルエステイト評価への初参加について

当社は、不動産セクターの E（環境）、S（社会）、G（ガバナンス）の取り組みを評価するベンチマーク「GRESB リアルエステイト評価」に初めて参加し、既存物件運用に関わる「スタンディング・インベストメント・ベンチマーク」において 2 スターを取得いたしました。

GRESB は、不動産会社・ファンドの ESG 配慮を測る年次のベンチマーク評価及び同評価を運営する組織の名称であり、責任投資原則（PRI）を主導した欧州の主要年金基金グループを中心に 2009 年に創設されました。投資先の選定や投資先との対話に GRESB データを活用する投資家メンバーは、現在 100 機関を超え、日本でも、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）をはじめ、複数の機関が GRESB 評価結果を利用しています。2020 年の GRESB リアルエステイト評価には、世界で 1,229 の不動産会社やファンドが参加しました。

今後もサステナビリティ経営の実践を充実させることにより、評価向上に向けた積極的な活動を継続してまいります。



以上

【本件に関するお問い合わせ先】  
 平和不動産株式会社 企画総務部 IR 担当  
 TEL 03-3666-0182

